

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農産物安全課
 担当名：安全生産・有機担当
 内線：4057 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B16	埼玉エコ農業推進事業		一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費	
事業期間	平成24年度～	根拠法令	有機農業の推進に関する法律 第4条 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律 第9条		宣言項目	09 儲かる農業の推進	SDGsゴール	
					分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	SDGsターゲット	
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>農業による環境負荷の軽減を図るため、農薬・化学肥料の削減や地球温暖化防止等に効果の高いエコ農業に取り組む産地を支援するとともに、環境保全型農業に対する消費者等の理解を深め、エコ農産物の需要拡大を図る。</p> <p>(1) エコ農業の推進 △390千円 (2) エコ農業への直接支援 △330千円 (3) 有機農業の拡大 △50千円</p>			<p>(1) 事業内容 農業による環境負荷の軽減を図るため、農薬・化学肥料の削減や地球温暖化防止等に効果の高いエコ農業に取り組む産地を支援するとともに、環境保全型農業に対する消費者等の理解を深め、エコ農産物の需要拡大を図る。 ア エコ農業の推進 (ア) エコ農業の技術開発や技術導入推進、講習会の開催等 (イ) IPM技術を導入したモデル産地の育成 (ロ) エコ農業推進のための取組、消費者・実需者に対するPR活動等 イ エコ農業への直接支援 (ア) 環境保全型農業に取り組む生産者への支援 (イ) 環境保全型農業を推進するための事務費 ウ 有機農業の拡大 有機農業推進のための研修会、情報交換会、流通業者とのマッチング等</p> <p>(2) 事業計画 ア エコ農業の推進 地球温暖化防止等に効果の高い農業技術の導入推進や、講習会等の開催 エコ農業推進のための取組及び消費者等へのエコ農業のPR イ エコ農業への直接支援 地球温暖化防止等に効果の高い生産技術や有機農業等に取り組む生産者に対する直接支援 ウ 有機農業の拡大 有機農業推進のための研修会、情報交換会の開催、流通業者とのマッチング</p> <p>(3) 事業効果 農業による環境負荷が軽減されるとともに、環境保全型農業に取り組む生産者の経営が強化される。</p> <p>(4) 補正予算の概要 ア エコ農業の推進：経費節減による減額、事業不採択に伴う補助金減額。 イ エコ農業への直接支援：申請面積の減少、国庫の内示差及び要望が見込みを下回ったことによる補助金減額。 ウ 有機農業の拡大：経費節減による減額。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
(県10/10) ア (ア) (ロ)、ウ (国1/2) 事業者1/2 ア (イ) (国1/2・県1/4) 市1/4・事業者0 イ (ア) (国10/10) イ (イ)、ウ								
3 地方財政措置の状況								
普通交付税 (単位費用) (区分) 農業行政費 (細目) 農業経営振興費 (細節) 経営振興費 (積算内容) 環境保全型農業直接支援対策								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×0.6人=5,700千円								
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の予算額
決定額	△770	△580					△190	17,972
現計額	18,742	11,006					7,736	